

# 一般質問

市政を問う

●アーバンスポーツ  
(P4参照)  
●小児慢性特定疾患  
児童等特別助成事業  
まめ知識

スケートボード、BMX、ブレイキンなど、広場やストリートなどの都市(Urban)の空間を舞台に繰り広げられるスポーツのこと。  
小児慢性特定疾患の患者に対する市独自の支援策で、重度の難病を持つ子どもがテーマパークなどへ外出した際にかかった費用(チケット代、交通費等)の助成を行っている。

発達特性のある未就学児に対する支援  
バイオマス資源の利活用



宮原田 繼香  
(たかさき未来)



質問 本市の5歳児健診は、保護者アンケートで対象者を抽出しているが、巡回方式または、こども園等へのアンケートを活用する併用方式を採用する考えは。

答弁 本市では、こども発達支援課によるこども園等への巡回相談を実施しており、専門職員が担任や希望する保護者へ助言を行っている。当面は、現在の方法を継続し、より効果的な事業となるよう模索していきたい。

質問 阿久津水処理センターの老朽化に伴う建て替えの際には、し尿・生ごみ、下水道汚泥で発電するバイオマス利活用センターの建設が有効と思われるが、市の考えは。

答弁 現在の阿久津水処理センターだけでは、下水道汚泥の利活用ができないため、関係機関との連携を図りつつ、本市の特性に合った最適な取り組みを研究したい。

質問 事情を抱える子どもの受け入れ先として、児童養護施設と里親制度の充実が重要であり、国が推進している里親支援センターの設置が必要と考えるが、本市の見解は。

答弁 里親の包括的な支援を一体的に行える里親支援センターの必要性は感じているが、現段階では制度的な枠組み等のさまざまな検討が必要であるため、今後先行自治体の取り組みを確認し検討したい。

質問 文化芸術、スポーツが生み出す都市の魅力と発展にどのような考えで今後取り組んでいくのか。

答弁 本市のスポーツ施設では多くの国際・全国大会を開催しており、また、高崎芸術劇場でも世界的な音楽家による公演が行われている。今後も文化、スポーツを通じ、市民や来客者に、高崎市民で良かった、また高崎に行きたい、住みたいと思ってもらえる魅力あるまちづくりに努めたい。

質問 熊の出没情報などに関する近隣市町村との連携や、市民への情報提供の方法は。

答弁 市町村境周辺での出没情報を得た場合は、関係市町間で速やかに情報共有を図っている。市民へは、安心ほつとメールの配信や防災無線、スピーカー車による注意喚起等を行うとともに、地域の区長や教育機関にも情報を共有している。なお11月26日に高崎市クマ出没SOS緊急ダイヤルを開設し、夜間や休日でもつながる体制を整えている。

子育て支援



堀口 順  
(市民クラブ)



質問 事情を抱える子どもの受け入れ先として、児童養護施設と里親制度の充実が重要であり、国が推進している里親支援センターの設置が必要と考えるが、本市の見解は。

答弁 里親の包括的な支援を一体的に行える里親支援センターの必要性は感じているが、現段階では制度的な枠組み等のさまざまな検討が必要であるため、今後先行自治体の取り組みを確認し検討したい。

質問 文化芸術、スポーツが生み出す都市の魅力と発展にどのような考えで今後取り組んでいくのか。

答弁 本市のスポーツ施設では多くの国際・全国大会を開催しており、また、高崎芸術劇場でも世界的な音楽家による公演が行われている。今後も文化、スポーツを通じ、市民や来客者に、高崎市民で良かった、また高崎に行きたい、住みたいと思ってもらえる魅力あるまちづくりに努めたい。

質問 熊の出没情報などに関する近隣市町村との連携や、市民への情報提供の方法は。

答弁 市町村境周辺での出没情報を得た場合は、関係市町間で速やかに情報共有を図っている。市民へは、安心ほつとメールの配信や防災無線、スピーカー車による注意喚起等を行うとともに、地域の区長や教育機関にも情報を共有している。なお11月26日に高崎市クマ出没SOS緊急ダイヤルを開設し、夜間や休日でもつながる体制を整えている。

スポーツによる本市のまちづくり



高橋 美奈雄  
(市民クラブ)



質問 文化芸術、スポーツが生み出す都市の魅力と発展にどのような考えで今後取り組んでいくのか。

答弁 里親の包括的な支援を一体的に行える里親支援センターの必要性は感じているが、現段階では制度的な枠組み等のさまざまな検討が必要であるため、今後先行自治体の取り組みを確認し検討したい。

質問 熊の出没情報などに関する近隣市町村との連携や、市民への情報提供の方法は。

答弁 市町村境周辺での出没情報を得た場合は、関係市町間で速やかに情報共有を図っている。市民へは、安心ほつとメールの配信や防災無線、スピーカー車による注意喚起等を行うとともに、地域の区長や教育機関にも情報を共有している。なお11月26日に高崎市クマ出没SOS緊急ダイヤルを開設し、夜間や休日でもつながる体制を整えている。

熊対策



角倉 邦良  
(超党派の会)



質問 熊の出没情報などに関する近隣市町村との連携や、市民への情報提供の方法は。

答弁 市町村境周辺での出没情報を得た場合は、関係市町間で速やかに情報共有を図っている。市民へは、安心ほつとメールの配信や防災無線、スピーカー車による注意喚起等を行うとともに、地域の区長や教育機関にも情報を共有している。なお11月26日に高崎市クマ出没SOS緊急ダイヤルを開設し、夜間や休日でもつながる体制を整えている。

●アーバンスポーツ  
(P4参照)  
●小児慢性特定疾患  
児童等特別助成事業  
まめ知識

スケートボード、BMX、ブレイキンなど、広場やストリートなどの都市(Urban)の空間を舞台に繰り広げられるスポーツのこと。  
小児慢性特定疾患の患者に対する市独自の支援策で、重度の難病を持つ子どもがテーマパークなどへ外出した際にかかった費用(チケット代、交通費等)の助成を行っている。

●アーバンスポーツ  
(P4参照)  
●小児慢性特定疾患  
児童等特別助成事業  
まめ知識

スケートボード、BMX、ブレイキンなど、広場やストリートなどの都市(Urban)の空間を舞台に繰り広げられるスポーツのこと。  
小児慢性特定疾患の患者に対する市独自の支援策で、重度の難病を持つ子どもがテーマパークなどへ外出した際にかかった費用(チケット代、交通費等)の助成を行っている。